

**行田市公立学校適正規模・適正配置の基本方針及び再編成計画に
関する保護者・住民向け説明会（埼玉中学校区）会議録**

- 1 開催日時 令和元年5月13日（月） 午後7時～8時20分
- 2 開催場所 埼玉中学校体育館
- 3 出席者 保護者8人、その他住民10人
- 4 教育委員会 鈴木教育長、門倉学校教育部長、江利川生涯学習部長
荻原学校教育部長、諸貫教育総務課長、白井主幹、久積、嶋田、柏瀬
- 5 会議内容

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
教育長	2 あいさつ
司会	3 教育委員会事務局紹介
教育総務課長	4 計画に関する説明
参加者 A	5 意見等 埼玉地区の小中一貫校設置はありがたい。施設隣接型とのことだが、9年間のカリキュラムを組む中で、例えば小学6年生で中学生の先取りをすることが可能となるのか。小学校・中学校がどの程度リンクできるのか検討してほしい。 定住促進を推進しているが、人口が増えていない。行田の魅力は何か。住みにくいのか。子供の数が減少するから再編ではなく、子供の数を増やす政策をするべきである。 2043年の建替えに合わせて再編するので学校数を減らすのではなく、教育のあり方を中心に学校編成を検討してほしい。
教育総務課長	中学校部分の先取りも可能であるが、私立中学への進学や転入する子供も配慮する必要がある。9年間を通した学習の中、どこでつまづいているかなど、教員も9年間を意識して指導できるメリットがある。
参加者 A	希望としては、中学校部分を先取りできるようなカリキュラムが良い。
教育総務課長	埼玉地区は、算数・数学において小中一貫教育の研究実績があるため、

<p>参加者 A</p>	<p>他の教科に広げ、小中一貫教育のメリットを生かしたカリキュラムを作っていく。</p> <p>定住計画は人口を増やすのは難しく、人口の減少を抑えるというものである。</p> <p>建替えについては、財政的な負担が大きいのは事実である。財政面だけではなく、教育において先進的な取り組みを行うことで行田市の魅力の一つにもなり得ることから、この計画の推進に取り組んでいく。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>南部地区は東西に長く、大きな道路が何本も通っている。近年自転車の事故が問題になっている。安全な自転車通学にも配慮してほしい。また、歩行者の安全確保も願います。</p>
<p>参加者 B</p>	<p>通学路に限らず、交通安全対策は、行田市の魅力アップにもつながる。全庁的に取り組んでいきたい。</p>
<p>参加者 B</p>	<p>① 2043年度、南部地区小中一貫校で中学校1校、小学校2校となるが埼玉小、埼玉中はなくなってしまうのか。</p> <p>② スクールバスの運行や学童保育室の併設についてどのように考えているか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>① どの施設を利用するかは現状では何も言えない。地理的な面、人口推移等を見ながら検討していく。</p> <p>② 短期的に再編を行う学校においては、スクールバスは必要と考えている。学童保育室のニーズも増えているため、担当課と検討していく。</p>
<p>参加者 A</p>	<p>埼玉という名称は残してほしい。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>名称は再編成をする際、一番の問題となるため、新しい名前にしたいと教育委員会では考えている。学校に限らず、行田市の中で地域に愛着のある名前をどのように残していくか考えていくことも必要である。</p>
<p>参加者 C</p>	<p>現状でも児童数の減少や学童保育室の利用により、近くに子供がいない。スクールバス導入は距離だけにこだわらず、考慮してほしい。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>この計画では、再編成を行い、通学範囲が広がる学校への導入を考えている。</p>

	6 閉会
--	------